



週間情報



No.0607

発行日 令和6年2月20日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

両会の動き

◆ 令和5年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文に係る会長賞入選作品の決定

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、「令和5年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文に係る会長賞入選作品の決定について（通知）」（令和6年2月7日付け全消協第283号）を发出了しました。

本年度は、全国の消防職員から94作品（機器の部78作品、論文の部16作品）の応募があり、地区支部選考委員会及び協会選考委員会による選考が重ねられ、このほど会長賞入選作品が決定しましたので、次のとおりお知らせします。

1 会長賞入選作品

一般財団法人全国消防協会ホームページ

(<https://www.ffaj-shobo.or.jp/ronbun/indexR5%E5%85%A5%E9%81%B8.html>) をご参照ください。

2 会長賞の表彰・最優秀賞受賞者による発表

(1) 開催日 令和6年5月30日（木）

(2) 場 所 第76回全国消防長会総会会場

「フェニーチェ堺」（大阪府堺市堺区翁橋町二丁1番1号）

消防本部の動き

行事

◆ 電動ストレッチャーを搭載した高規格救急自動車を導入

湯浅広川消防組合消防本部（和歌山）

湯浅広川消防組合消防本部では、令和6年1月30日（火）、女性救急隊員のさらなる活躍を目指して、近畿圏域の消防本部では初となる電動ストレッチャーを搭載した高規格救急自動車を導入したことから、納車式を実施しました。

式典には、当消防組合管理者、同議会議長をはじめ、救急車の販売会社と製造会社の関係者にもご出席いただき、「地域の救急医療サービスの向上に努め、安心安全の街づくりに貢献していく。」と管理者が力強く宣言しました。

その後、電動ストレッチャーを活用したデモンストレーションでは、女性救急隊員が電動ストレッチャーを操作して傷病者を搬送しました。



【デモンストレーションの様子】



【納車式後の記念撮影】

◆ 電動ストレッチャーを搭載した高規格救急自動車を導入

豊橋市消防本部（愛知）

豊橋市消防本部では、令和6年2月7日（水）、豊橋市役所において、電動ストレッチャーを搭載した高規格救急自動車を導入したことから、納車式を実施しました。

この車両は、令和4年12月に篤志の方から寄贈いただいたもので、当市では初となる電動ストレッチャーを搭載しています。

納車式では、展示説明と併せて救急活動のデモンストレーションを実施しました。

この車両を運用する本部日勤救急隊は、育児休業を終えた女性職員や再任用職員を中心に編成されています。

今後も、電動ストレッチャーを有効に活用して、隊員の負担を軽減させるとともに、より安全・確実な救急サービスの提供を実施してまいります。



【デモンストレーションの様子】



【納車式後の記念撮影】

訓練

◆ 岐阜県警山岳警備隊と冬季山岳救助合同訓練を実施

高山市消防本部（岐阜）

高山市消防本部では、令和6年1月23日（火）、北アルプス穂高平周辺において、岐阜県警山岳警備隊と冬季山岳救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、両機関の技術の共有と冬季山岳救助に関する知識・技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、警察・消防の山岳救助隊員が計18人参加し、雪山装備を装着した状態での歩行訓練、スケッドストレッチャーを活用した傷病者搬送訓練、ビーコンやゾンデ棒を活用した捜索訓練などを行い、冬山における救助技術の確認をするとともに、両機関の連携強化を図りました。

今後も、管内の山々に訪れる登山客の安全・安心を確保するため、各機関との連携を強化するとともに、山岳救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 建設業協会と土砂災害対応連携訓練を実施

志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、令和6年1月27日（土）、焼津市建設工業会、大井川建設業協会と締結している「災害時における消防活動の緊急協力に関する協定」に基づき、土砂災害対応連携訓練を実施しました。

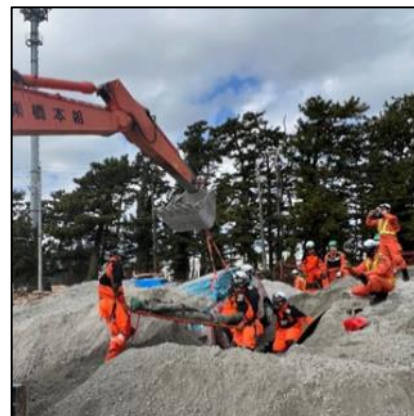
この訓練は、管轄消防力では対応が困難な大規模災害に備えるため、協定機関との連携を強化するとともに、災害対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「大規模災害が発生し、協定に基づいて、建設業者に緊急協力を要請した。」との想定で、道路啓開訓練と車両埋没救助訓練を実施しました。

令和6年能登半島地震に伴う緊急消防援助隊の派遣を経験し、関係機関との連携強化の重要性を改めて認識しました。日々の訓練を充実するとともに、この経験を生かして、住民の負託に応えられる組織の構築に努めてまいります。



【道路啓開訓練の様子】



【車両埋没救助訓練の様子】

◆ ドローンを活用した合同捜索訓練を実施

北部消防連絡協議会（沖縄）

北部消防連絡協議会では、令和6年1月29日（月）、同協議会を構成している4消防本部（国頭地区行政事務組合消防本部、本部町今帰仁村消防組合消防本部、名護市消防本部、金武地区消防衛生組合消防本部）が合同で、各消防本部が保有するドローンを活用した合同捜索訓練を実施しました。

当日は、各消防本部が保有するドローンの性能をそれぞれが紹介した後、「SUP（スタンドアップパドルボード）で遊戯中に、強風で沖合の小島に流された。」との想定で、各消防本部が受援側と応援側に分かれて、ドローンを活用した情報収集などを実施し、活動・連携要領、ドローンの機能性について相互に確認することができました。

今後も、住民の安全・安心の確保のため、訓練を継続するとともに同協議会を構成する消防本部間の連携を強化してまいります。



【訓練開始前のあいさつ】



【訓練の様子】

◆ 解体予定の市役所旧庁舎を活用した総合想定訓練を実施

草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、令和6年1月30日（火）、埼玉県警察草加警察署、埼玉県警察航空隊、草加市立病院DMAT、八潮中央総合病院地域DMATと合同で、解体予定の八潮市役所旧庁舎を活用した総合想定訓練を実施しました。

この訓練は、関係機関との連携強化と災害対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「解体工事中に2階部分で爆発事故が発生し、多数の負傷者がいる。」との想定で、関係機関が連携して現場指揮本部の運用、負傷者の応急救護などを実施し、災害活動要領について共有を図りました。

今後も、「住民の生命・身体・財産を守る」という使命感を持ち、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【応急救護の様子】



【救出活動の様子】

◆ 救助工作車積載クレーンを活用した講習会を実施

筑後市消防本部（福岡）

筑後市消防本部では、令和6年1月29日（月）、30日（火）の2日間、救助工作車積載クレーンを活用した講習会を実施しました。

当日は、クレーン整備業者とクレーン専門業者を講師にお招きし、クレーンの構造や維持管理方法についてご説明いただいたほか、車両を持ち上げる際の玉掛け要領をご指導いただき、クレーン操作に関する知識・技術の向上を図ることができました。

当市では、救助出動の中で交通救助が最も多いため、今後も交通救助に関する知識・技術を向上してまいります。



【講習会の様子】

◆ 土砂災害対応訓練を実施

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和6年1月31日（水）、新潟県消防学校において、土砂災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、近年の気象変動による集中豪雨や大規模な風水害に伴う土砂災害に対応するため、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、土砂に埋没した要救助者を救出するために必要な、土留めの設定要領や土圧を解除する際の注意点などを確認し、土砂災害活動要領に関する知識・技術の共有と連携力の強化を図ることができました。

今後も訓練を継続し、各種災害への対応能力の向上を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 令和5年度羽島市消防本部競練大会を実施

羽島市消防本部（岐阜）

羽島市消防本部では、令和6年1月30日（火）、31日（水）の2日間、令和5年度羽島市消防本部競練大会を実施しました。

この大会は、「消防職員の消防技術向上と士気の高揚を図るとともに、いかなる災害に対しても迅速かつ的確に対処し、もって消防活動に万全を期すること。」をテーマとして実施したものです。

当日は、「耐火造3階建て住宅の2階台所付近から出火し、2階バルコニーに逃げ遅れ者が2人いる。」との想定で、4人で編成した各チームが、要救助者の救出要領、消火活動要領の技術を競いました。

今後も、チームワークをより一層強固にするとともに、災害対応能力のさらなる強化に努めてまいります。



【大会の様子】

◆ 消防活動訓練効果確認を実施

沖縄市消防本部（沖縄）

沖縄市消防本部では、令和6年2月2日（金）、沖縄県消防学校において、沖縄県中部の6消防本部（中城北中城消防本部、宜野湾市消防本部、浦添市消防本部、うるま市消防本部、ニライ消防本部、当消防本部）が合同で、消防活動訓練効果確認を実施しました。

この効果確認は、安全管理に配慮した基本的な消防活動を行うとともに、効果確認を通じて6消防本部が切磋琢磨することで、消防活動の知識・技術の向上を図り、災害現場において組織的な活動につなげることを目的として、2年おきに実施しているものです。



【効果確認の様子】

◆ 各機関と合同雪害対応訓練を実施

砂川地区広域消防組合消防本部（北海道）

砂川地区広域消防組合消防本部では、令和6年2月8日（木）、消防庁舎北側訓練地（冬期間雪堆積場）において、北海道警察札幌方面滝川警察署、市建設部土木課と合同雪害対応訓練を実施しました。

この訓練は、管内において、屋根からの広範囲な落雪を原因とする雪害事案（巻き込まれの有無の確認含む）が毎年発生していることから、各機関と活動要領を共有し、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、3機関から計23人が参加し、ゾンデ棒を活用した検索訓練、簡易担架を活用した要救助者搬送訓練を行ったほか、サイレントタイムを設けて、要救助者が雪に埋もれた場合の声の聞こえ方や携帯電話の着信音量について確認するための検証訓練を実施しました。

各機関の活動指針や技術を共有することが、円滑な現場活動を遂行するために重要であるということを再認識しました。

今後も合同訓練を継続し、各機関との連携を強化するとともに救助技術の向上に努めてまいります。



【ゾンデ棒を活用した検索訓練の様子】



【搬送訓練の様子】

◆ ごみピット内への転落事故を想定した救助訓練を実施

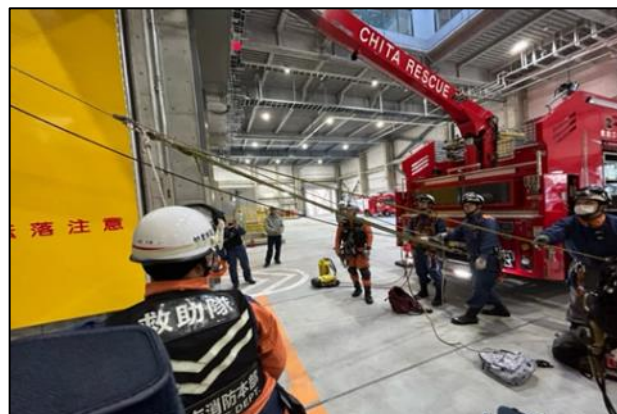
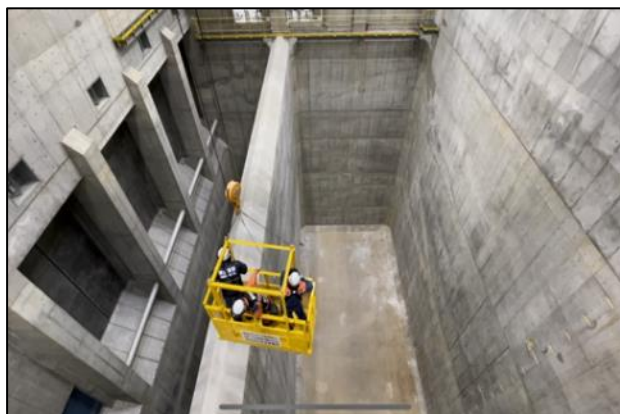
知多市消防本部（愛知）

知多市消防本部では、令和6年2月6日（火）から8日（木）までの3日間、市内に新たに建設されたクリーンセンターにおいて、ごみピット内への転落事故を想定した救助訓練を実施しました。

この訓練は、施設内で発生した転落事故を含む各種災害において、円滑な救助活動を実施することを目的としたものです。

期間中は、施設内の設備を活用した救助方法を確認したほか、各種救助資器材を活用した救助訓練を実施しました。

今後も、市民の安全・安心の確保のため、消防業務にまい進してまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ 女性消防吏員活躍推進研修会を実施

市原市消防局（千葉）

市原市消防局では、令和6年1月24日（水）、女性の消防吏員と係長職以上の職員を対象とした、女性消防吏員活躍推進研修会を実施しました。

当日は、女性消防吏員活躍推進アドバイザー制度を活用して、女性消防吏員活躍推進アドバイザーである、相模原市消防局の溝田優子氏を講師としてお招きし、ご講演いただきました。

受講した職員からは、「広報する方法が多くあり、参考にしていきたいと思いました。」「性の区別なく、職務に専念できる環境を目指したい。」「現役女性消防吏員の講師からお話しを聞くことができ、貴重な研修会となりました。」などの意見があり、とても有意義な研修会となりました。

今後も、「誰もが輝きながら働き続けることができる職場」を目指してまいります。



【研修会の様子】



【研修会後の記念撮影】

◆ 総務事務担当者研修会を実施

浦添市消防本部（沖縄）

浦添市消防本部では、令和6年1月26日（金）、沖縄県中部の6消防本部（宜野湾市消防本部、中城北中城消防本部、沖縄市消防本部、ニライ消防本部、うるま市消防本部、当消防本部）と沖縄県消防指令センターが合同で、総務事務担当者研修会を実施しました。

この研修会は、消防業務の向上を図ることを目的として、沖縄県中部の6消防本部が合同で研修会を毎年実施しているものです。

今年度は、外部講師をお招きし、「公務員マナー研修会」と題して、公務員としての接遇や電話対応について実践を交えながらご講義いただきました。

この研修会で得た知識を消防業務に生かしてまいります。



【研修会の様子】

◆ 警察官を対象としたJPTECファーストレスポnderコースを開催

安来市消防本部（島根）

安来市消防本部では、令和6年1月26日（金）、2月2日（金）の2日間、警察官を対象としたJPTECファーストレスポnderコースを開催しました。

これは、救急隊員と連携した活動を行う機会の多い警察官が、交通事故や労働災害などの外傷事案現場において、救急隊が到着するまでの間に救急処置などを行い、救命率の向上を図ることを目的として開催したものです。

当日は、近隣消防本部と医療機関のインストラクターにもご協力いただき、警察官24人が受講しました。

受講した警察官から、「警察目線でしか傷病者を見ていなかったが、傷病者を気遣う気持ちや声かけ、後遺症が残らないようにする処置などの重要性を学ぶことができた。」「警察・医療従事者・消防での意見交換ができて、お互いの気持ちや考え方が分かり、大変有意義だった。」などの建設的な意見を聞くことができました。

新型コロナウイルスの影響により5年ぶりの開催となりましたが、改めて職種ごとの視点の違いがあることを理解するとともに、現場で連携する重要性について再認識しました。

今後も同コースを開催し、警察機関とのさらなる信頼関係を構築してまいります。



【コースの様子】

◆ 緊急車両を活用した運転技術向上研修会を実施

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和6年1月29日（月）、2月5日（月）の2日間、藤岡市内の自動車学校にご協力いただき、緊急車両を活用した運転技術向上研修会を実施しました。

2日間で32人の職員が参加し、坂道発進、狭隘路走行、方向転換などを行ったほか、運転手と誘導員との意思疎通の向上を図ることを目的とした連携訓練を実施しました。

今後も、習得した知識、運転技術、車両感覚をさらに向上させて、安全・迅速な緊急走行を行ってまいります。



【研修会の様子】

◆ 塵芥車事故対応研修会を実施

蕨市消防本部（埼玉）

蕨市消防本部では、令和6年2月5日（月）、蕨防火協会会員である株式会社クリーンシティーにご協力いただき、戸田市消防本部と合同で、塵芥車事故対応研修会を実施しました。

この研修会は、塵芥車の事故や火災の発生時における活動能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、同社の職員から塵芥車の構造、操作要領、緊急時における停止要領などについてご講義いただきました。

今後も各種研修会を行い、地域とのつながりを大切にするとともに、災害発生時における救助活動を安全・確実・迅速に実施してまいります。



【研修会の様子】



【研修会後の記念撮影】

◆ 手話研修会を実施

総社市消防本部（岡山）

総社市消防本部では、令和6年2月7日（水）、8日（木）の2日間、手話研修会を実施しました。

この研修会は、聴覚障がいをお持ちの方と手話通訳士の方を講師にお招きし、「聴覚障がいの理解及び消防職員のための手話講座」と題して、救急現場などで役立つ手話についてご講義いただいた後、実際にその手話を活用したシミュレーション訓練を実施し、聴覚障がいについての理解を深めることができました。

今後も、「日本で一番優しいまち総社」を目指すべく、市民に寄り添う姿勢を大切にまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 消防協力者に消防総監感謝状を贈呈

東京消防庁（東京）

東京消防庁新宿消防署では、令和6年1月31日（水）、消防協力者の2人に対して、消防総監感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和6年1月4日（木）、消防協力者の2人が勤務する建物で発生した火災において、消防協力者の2人が避難中に、黒煙と火炎が激しく噴出する火点室の玄関前で動けなくなっている女性を発見し、女性を抱えて屋外階段の踊り場まで救出したものです。

救出された女性は、喉にやけどを負いましたが、回復に向かっています。

消防協力者から、「女性に駆け寄ると「助けて、動けない。」と言っていました。玄関からは煙と炎が噴出しているのが見え、恐怖を感じましたが、放ってはおけないと必死で助けました。」と、当時の切迫した状況を語ってくれました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防活動協力者に感謝状を贈呈

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和6年2月2日（金）、消防活動協力者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年10月21日（土）、管内で発生した救急事案において、心肺停止の男性を消防活動協力者の2人が発見し、迅速な119番通報と的確な救命処置を実施して、現場に到着した救急隊に引き継いだものです。

男性は、救急隊が到着する前に心拍が再開し、病院で治療後に社会復帰しました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

大野市消防本部（福井）

大野市消防本部では、令和6年2月5日（月）、消防協力者の5人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年12月25日（月）、市内の体育施設において、バレーボール指導中の男性が心肺停止になったため、近くにいた消防協力者の5人が連携して、119番通報、胸骨圧迫、AEDを活用した除細動、救急隊の誘導などを実施したものです。

男性は、病院で治療後に社会復帰しました。

消防協力者5人の救命のリレーにより、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

箕面市消防本部（大阪）

箕面市消防本部では、令和6年2月9日（金）、消防協力者に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年11月28日（火）、管内で発生した共同住宅における火災事案において、天井付近まで達していた炎に対し、共用廊下に設置された粉末消火器を使用して、効果的な初期消火を実施したものです。

消防協力者の早期発見と機転の利いた勇気ある行動により、火災の拡大と延焼を防止することができました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 文化財防火デーに伴う火災想定訓練を実施

天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、令和6年1月26日（金）、天草市指定の文化財建造物において、文化財防火デーに伴う火災想定訓練を実施しました。

この文化財は、江戸時代に貿易などで財を成した豪商の屋敷で、敷地内には一般企業の事務所やお食事処として使用されている建物もあり、多くのリピーターが出入りする場所でもあります。

当日は、「調理場から出火した。」との想定で、2つの事業所の職員と文化財の関係者が連携して、利用者の避難誘導、消火器を活用した初期消火、文化財の資料搬出などを実施しました。

また、近隣住民に文化財防火デーの目的について周知し、火災予防についての認識を深めていただきました。

今後も火災予防啓発を継続し、地域住民と連携して災害に強い街づくりを構築してまいります。



【文化財資料搬出の様子】



【初期消火訓練の様子】

◆ 女性向け消防業務説明会を実施

津市消防本部（三重）

津市消防本部では、令和6年1月27日（土）、女性消防職員を希望する方を対象に、女性向け消防業務説明会を実施しました。

この説明会は、消防の魅力を伝え、女性活躍を推進することを目的として実施したものです。

当日は、仕事内容の説明、庁舎や訓練の見学、防火衣の装着体験を実施した後、当消防本部の女性職員と座談会を行い、参加者から多数の質問があるなど、有意義な説明会となりました。

今後も、女性活躍推進への取り組みを進めてまいります。



【訓練見学の様子】



【座談会の様子】

◆ 文化財防火デーに伴う消防訓練を実施

尾三消防本部（愛知）

尾三消防本部では、令和6年1月28日（日）、管内の三好稲荷閣満福寺において、文化財防火デーに伴う消防訓練を実施しました。

この訓練は、防火意識の高揚と火災予防の重要性を普及啓発することを目的として実施したものです。

当日は、「文化財に隣接する山林で火災が発生し、文化財に延焼の危険がある。」との想定で、三好稲荷閣満福寺の関係者が119番通報、文化財の重要物搬出、初期消火を実施した後、消防団と連携して放水活動を行いました。

訓練後には消防団とともに一斉放水を行い、無事故・無災害を祈願しました。



【消防訓練の様子】

◆ 自動火災報知設備のデモ機を製作

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和6年1月30日（火）、職員研修の一環として、自動火災報知設備のデモ機（A-SPIDER）を製作しました。

製作については、能美防災株式会社関西支社と真弓興業株式会社関空支社より寄贈いただいた機器一式をスーツケースに格納したものと、廃止・解体予定の建物から譲り受けた機器をパネルに取り付けたものをそれぞれ製作し、いずれもコンセントから電源を確保できるよう稼動式としました。

また、デモ機を活用した職員研修も定期的を実施し、予防担当以外の職員も、同設備の仕組みや非火災時の対応要領についても気軽に学べるようになりました。

今後は、職員はもとより管内の住民に対してもデモ機を周知し、管内の火災対応力の強化を図ってまいります。



【製作したデモ機】



【職員研修の様子】

◆ 文化財防火デーに伴う消防訓練を実施

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部（福岡）

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部では、令和6年1月31日（水）、多数の埋蔵文化財を収蔵する春日市奴国の丘歴史資料館において、文化財防火デーに伴う消防訓練を実施しました。

当日は、同資料館の自衛消防隊が119番通報、避難誘導を実施したほか、消火器や屋内消火栓設備を活用した初期消火訓練では、同資料館の職員から多数の質問があり、非常に有意義な訓練となりました。

今後も訓練を継続し、市民の安全・安心に努めてまいります。



【消防訓練の様子】

消防学校からの便り

◆ 予防査察科において実体験型研修を実施

山口県消防学校（山口）

山口県消防学校では、令和6年2月8日（木）、第78期消防職員専科教育予防査察科において、実体験型研修を実施しました。

当日は、泉州南消防組合泉州南広域消防本部の紀野英明氏と戸野勝一氏を講師にお招きし、「予防実務（人材育成）について」と題して、第6回および第7回予防業務優良事例表彰における表彰事例についてご紹介いただいたほか、自動火災報知設備やスプリンクラー設備の作動体験、危険物の燃焼・消火実験など、実体験型研修を実施していただきました。

また、当日は公開授業として、県下消防職員も入校中の学生とともに受講しました。

熱意あふれるご講義により、予防業務に関する知識をより一層深めることができました。



【講義の様子】



【実体験型研修の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 令和6年春季全国火災予防運動の実施について

(消防予第22号、令和6年2月9日)

消防庁長官から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

本年の春季全国火災予防運動については、令和6年3月1日から7日までの7日間にわたり、別添「令和6年春季全国火災予防運動実施要綱」に基づき、実施することといたします。

(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/05638b9c81d3bff045bb6e123dc1201102e80124.pdf>) に掲載されています。

◆ 令和6年春季全国火災予防運動の実施について

(消防予第26号、令和6年2月9日)

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和6年春季全国火災予防運動については、令和6年2月9日付け消防予第22号により実施要綱を定め、各都道府県知事等あてに消防庁長官から通知したところですが、当該実施要綱に関し参考になると考えられる事項を、別添のとおりとりまとめましたので送付します。(別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/240209_yobou_2.pdf) に掲載されています。

◆ 移動タンク貯蔵所等に対する立入検査結果について

(消防危第26号、令和6年2月13日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、「移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施について(令和5年9月29日付け消防危第279号通知)」により実施を依頼した移動タンク貯蔵所等に対する立入検査の実施結果について、別添1のとおり取りまとめましたので通知します。(別添1省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/924f461df01cb050ee178219daf3eb3f022e6462.pdf>) に掲載されています。

問い合わせ先

消防庁危険物保安室

危険物指導調査係 佐藤、葛西

TEL 03-5253-7524 (直通)

電子メールアドレス

kikenbutsukiseijimu@ml.soumu.go.jp

報道発表

◆ 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令案に対する意見公募の結果の公示及び改正政令の公布

(令和6年2月9日、消防庁)

消防庁では、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令案の内容について、令和5年12月7日から令和6年1月10日までの間、国民の皆様から広く意見を公募したところ、1件の意見の提出がありました。意見公募の結果も踏まえ、本日、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令を公布しましたので併せてお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/ef3c84246ada3dee48545f90222b44f58ef58c46.pdf>) に掲載されています。

【連絡先】

消防庁国民保護・防災部地域防災室

塗師木課長補佐、加賀事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：syobodan_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 石原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。